



130年の伝統を「装い」で未来へ。

鶴岡工業高校がANAと連携し、生徒デザインのシルクスカーフ講習会を開催

～商標出願中のオリジナルスカーフで、表現力とマナーを磨く～

県立鶴岡工業高等学校（校長：齋藤秀志、生徒数451名）では、地域の伝統産業であるシルクを通じた学びを深める「鶴エシルクプロジェクト」を推進しています。その一環として、ANA SHONAI BLUE Ambassador（庄内地域を拠点に活動するANA客室乗務員）を講師にお招きし、生徒自らが企画・デザインしたオリジナルスカーフを用いた「スカーフの巻き方セミナー」を開催いたします。

本プロジェクトで製作したスカーフは、現在、知的財産権としての「商標登録」を出願中であり、生徒たちの創造性と実学が結実したものです。当日は、学校の顔である生徒会執行部を中心とした鶴エシルクプロジェクトのメンバーのほか、来月2月7日（土）に第60回定期演奏会を控える吹奏楽部の生徒が中心となって参加。歴史ある校歌を未来へ繋ぐ「校歌編曲プロジェクト」にも取り組む吹奏楽部員にとって、プロから直接学ぶ「装い」の技術は、公式な場での振る舞いや表現力を高める貴重な学びとなります。

「地場産業の継承」「知的財産の活用」「プロから学ぶ表現技術」。130年の伝統を胸に、自慢のスカーフを身にまとい、新たな一步を踏み出す生徒たちの挑戦をぜひご取材ください。

記

- 1 日 時 令和8年1月14日（水） 15：40 ～ 16：40
- 2 場 所 県立鶴岡工業高等学校（鶴岡市家中新町8-1） 会議室（家庭科総合実習室）
- 3 講 師 ANA SHONAI BLUE Ambassador（ANA あきんど株式会社所属。庄内地方に移住し、地域の魅力発信や商品開発等に取り組む現役客室乗務員）
- 4 参加者 生徒会執行部、吹奏楽部員 ほか、
- 5 内 容 ・ 鶴エシルクプロジェクト・オリジナルスカーフ（商標出願中）の紹介
・ ANA SHONAI BLUE Ambassador によるスカーフの巻き方実演・指導
・ 所作やホスピタリティに関するミニ講話 等
- 6 その他 本プロジェクトの経過は、随時学校 Web ページ等で紹介しております。

担 当 山形県立鶴岡工業高等学校
窓 口 生徒会 ：教諭 阿部健人
吹奏楽部：教諭 田村 豪

TEL：0235-22-5505／FAX：0235-25-4209
Mail：abeta.iz@pref-yamagata.ed.jp
Mail：tamurag.ot@pref-yamagata.ed.jp